

# 医師への道 東欧經由

## 日本の入試「回避」■私大より「安い」

難関の大学医学部入試を回避する「別ルート」として、海外の大学で医学を学び、日本の医師国家試験を目指す日本人が増えている。中でも東欧・ハンガリーには、すでに200人以上が留学しているという。彼らは帰国後、本当に医師になれるのか。(木下敦子)

### ハンガリー留学200人



## ルポ 2012

4月下旬、東京・新宿の高級ホテルで、ハンガリー国立セゲド大のギョーラ・サボイ教授(病態生理学)が、26人の留学予定者を前に熱弁をふるっていた。

### 日本の医師になるための仕組み



日本の医師国家試験 今年合格者は7688人で、日本の大学で医学の正規課程を修め、卒業した者②海外の医学学校卒業や医師免許取得者で厚労相が適当と認めた者③予備試験に合格し、一年以上臨床経験がある者④に受験資格を認める。②は6年以上かつ4500時間以上の専門教育などを受け、学業成績良好で日本語診療能力調査に合格した者を指す。

「わが国からはノーベル賞受賞者も出ている。1年目からきちんと教えます」  
同国への留学をあっせんする民間会社「ハンガリー医科大学事務局」(東京)の渡瀬説明会。同社は2006年以降、セゲド大など4国立大医学部に毎年30〜50人の日本人留学生を送り出し、現在は約200人が

留学中だ。その多くが目指すのが日本の医師免許取得。日本の医師を目指す日本人留学生は他の東欧諸国や中国にもいる。しかしハンガリーは、同社が集団で送り込んでいることもあり、そうした日本人留学生が恐らく世界で最も多い国だという。

6〜7年間で、授業は英語。入学には英語力や理科系科目の知識が必須だが、あらゆる科目に高得点が必要なのは日本の入試に比べ、合格のハードルは低いとされる。そこに、国内で挫折した受験生がひきつけられる。説明会に参加した滋賀県の男性(20)は、2浪したが合格できず、ハンガリー行きを決めた。「数学が苦手でも日本の入試は不利でも、

ハンガリーの大学医学部について説明するサボイ教授。留学を目指す日本人学生と保護者は真剣に1月、東京都内で

医学の勉強なら頑張れる」と男性。費用は同社への納付金380万円や授業料、生活費など7年間で1500万〜1700万円に上るが、「数千円かかる日本の私大よりずっと安い。将来は日本で救命救急医として働きたい」と言う。

海外の大学卒業者が日本の医師国家試験を受験する場合、厚生労働省が日本との医師レベルに問題はない」と強気だ。

在日ハンガリー大使館によると、同国は外貨獲得などを目的に、1980年代から留学生受け入れを積極的に推進。先の4大学の医学部には現在、50か国以上の留学生が各900〜2000人在籍している。留学中の日本人に聞いた。3年の男性(28)は中学生の頃、大病院で病気を治してもらった経験から医

同等の医学教育を受けたかどうか審査し、受験資格を認める「本試験認定」か、前段階の予備試験が必要かを判定する。同省によると、10年度に受験資格の認定申請をした海外卒業者は84人で、本試験認定は38人。日本人は、認定申請者が30人余りで前年度から7倍近くに増えたが、本試験認定は11人と横ばいだった。

予備試験からの受験なら、最初の筆記試験の合格率は33%(11年度)と難関で、「海外ルート」は遠回りにも見える。だが、ハンガリー医科大学事務局の石倉秀哉代表(60)は「ハンガリー人医師が今年、日本の国家試験に合格しており、教育レベルに問題はない」と強気だ。

彼らを知る国内の医師たちは好意的だ。2010、11年に臨床実習を受け入れた弘前大病院(青森県)の奥村謙教授は「最先端医療を学ぶ上で必要な英語力を

師を志した。だが私大は費用で手が出ず、国立大は

### 国家試験受験資格 診療能力も審査を

日本医学教育学会理事長の伴信太郎・名古屋大教授の話「医師国家試験の受験資格審査は従来、主に外国人医師を想定していたが、海外卒業者の日本人が増えるなら、これまで重視してきた日本語能力よりも、医学知識や患者との接し方など幅広い診療能力をチェックできるような見直しをすべきだ。留学あっせん業者にも、不当に高い料金を取るなどのトラブルがないよう注意を払う必要がある」

5浪しても合格できなかった。「別の人生を」と考えていた時、ハンガリーのルートを知ったという。授業はハードで、進級できず途中帰国する日本人もいる。それでも男性は「念願の医学が学べ、充実している。日本で医師になれる不安はあるが、今はまず大学をきちんと卒業したい」と話す。

彼らを知る国内の医師たちは好意的だ。2010、11年に臨床実習を受け入れた弘前大病院(青森県)の奥村謙教授は「最先端医療を学ぶ上で必要な英語力を結果が注目される。」

同社の留学生第一陣が日本の医師国家試験に挑むのは、順調にいけば再来年。

### 全て英語 ハードな授業

在日ハンガリー大使館によると、同国は外貨獲得などを目的に、1980年代から留学生受け入れを積極的に推進。先の4大学の医学部には現在、50か国以上の留学生が各900〜2000人在籍している。留学中の日本人に聞いた。3年の男性(28)は中学生の頃、大病院で病気を治してもらった経験から医

師を志した。だが私大は費用で手が出ず、国立大は

同社の留学生第一陣が日本の医師国家試験に挑むのは、順調にいけば再来年。